

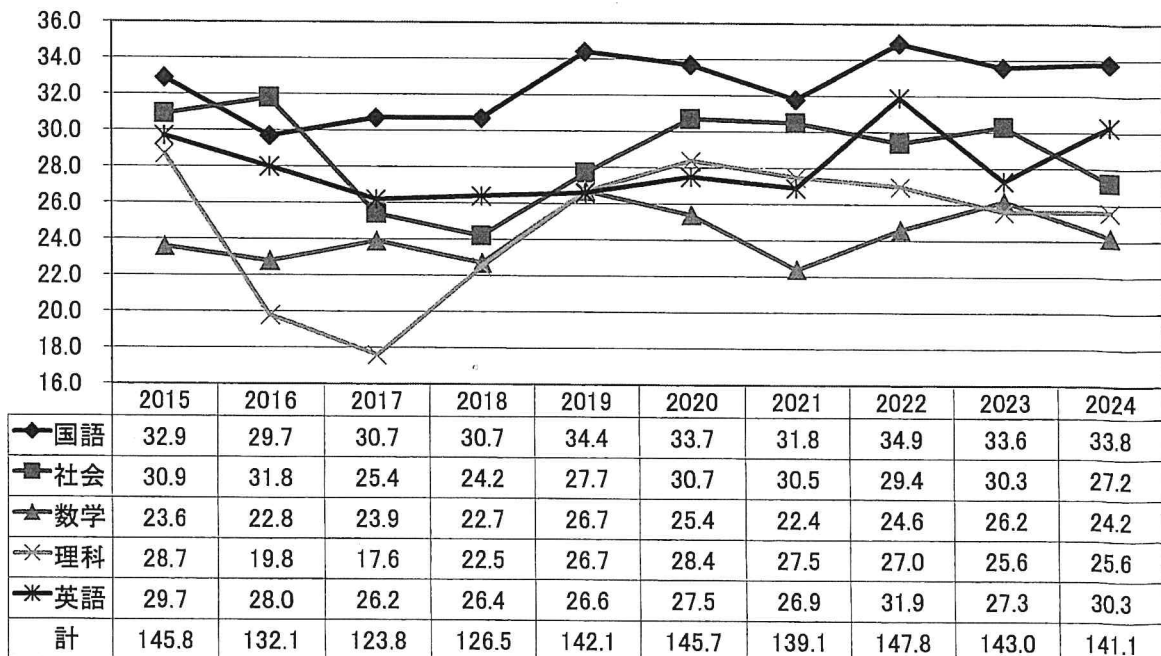
# 2024年度公立高校入試 「静岡県」

教科	今年の入試の特徴	難易度(昨年と比較)	その他注目したい点
数学	「2次関数」は2年連続でタブレット端末の設定。新出内容の「累積相対度数」の出題も。	特に大きな変化なし。	凝った設定の問題はなく、入試典型題が並ぶつくり。「データの活用」「方程式」では読解力が必要な問題も。
英語	“人工知能の活用と環境問題”を題材にした英文を出題。	平均点の変動がこの数年大きく、今年は平均点が上がった。	2は知識寄り、3は内容把握の構成。記述量が多いため、題材の難化にも要注意。
国語	問題構成は例年通り。作文は「俳句の完成」についての意見文で書きやすい内容。	特に大きな変化なし。	作文を含め、配点の50%近くが記述問題だが、例年正答率は高い。表現問題や作文の資料はシンプル。
理科	昨年の新傾向採用から一転、会話やレポートのない従来通りの典型題が並んだ。	特に大きな変化なし。	「イオン化傾向」のみを扱った実験は未出のため要対策。思考力や知識の活用を問う問題は少なく正確な知識の理解が問われる。
社会	課題解決が定番の最終問の記述は「無投票を防ぐための取り組み」で難度高め。	記述がやや難化し、平均点は下がった。	用語が11問、記述が10問あり、設問の60%が記述で構成。資料は多くなく、知識を問う設問が大半を占める。

Copyright©2024 Educational Network, Inc.

3

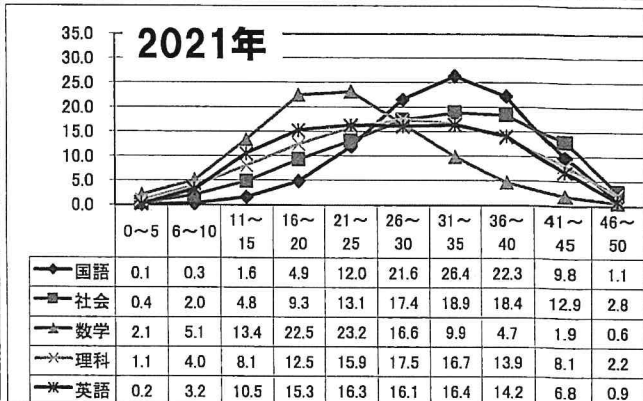
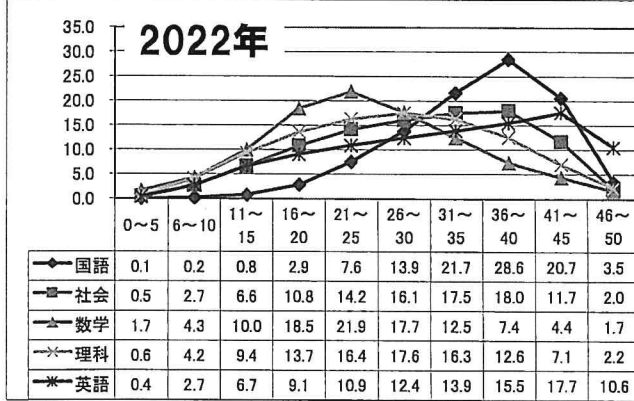
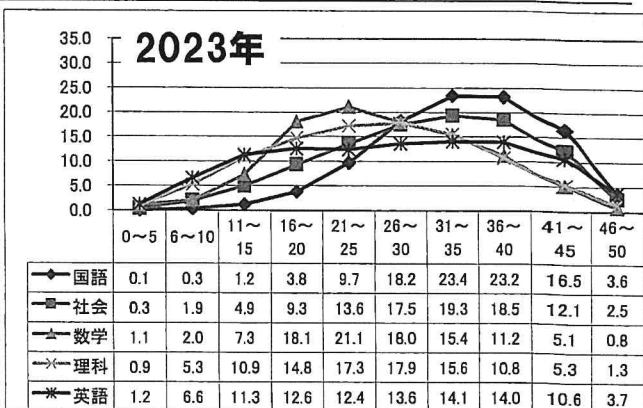
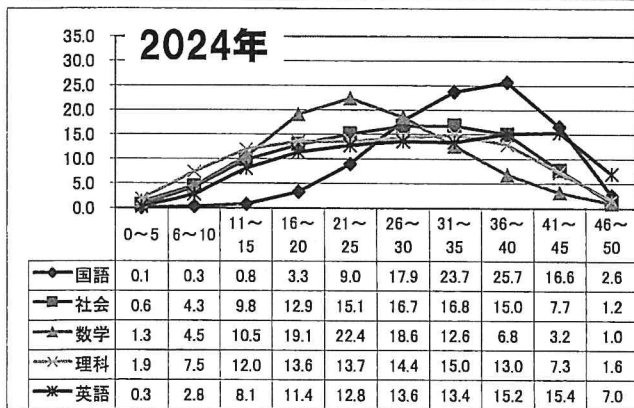
# 2015年～2024年平均点推移 「静岡県」



Copyright©2024 Educational Network, Inc.

4

# 2021年～2024年得点分布 「静岡県」



Copyright©2024 Educational Network, Inc.

## 静岡県高校入試 2025年度対策【数学】

レベルに応じた知識の定着と活用が必要！

- ◆ Stage1 ⇒ 全体的に典型題中心の問題構成！出題傾向も大きく変化しないので、学力や目標得点に合わせた対策が不可欠！大問2の小問集合は文章量がやや増加傾向にあるため、条件整理が必要な問題にも触れておきたい！
- ◆ Stage2 ⇒ 問題文がシンプルな問題が大半を占めるが、「方程式」や「関数」は思考力＝読解力タイプの出題も！他県入試を活用した対策もしておきたい！
- ◆ Stage3 ⇒ 高得点のカギを握るのは例年低正答率の「図形」対策！典型的な応用題が出題されるため、過去問や他県入試の実戦的な問題で解き慣れる！

Copyright©2024 Educational Network, Inc.

# 2024年度静岡県高校入試 注目問題【数学】

## 大問3

3 ある中学校の2年生が職場体験を行うことになり、Aさんは野菜の直売所で、きゅうりとなすの販売を行った。きゅうりとなすは合わせて360本用意されており、きゅうりは1袋に6本ずつ、なすは1袋に3本ずつで、余ることなくすべて袋詰めされていた。きゅうりは1袋200円、なすは1袋140円で販売したところ、閉店の1時間前に、きゅうりは売り切れ、なすは5袋売れ残っていた。そこで、売れ残っていたなすを1袋につき4割引きにして売ることになり、すべて売り切ることができた。その結果、用意されていたきゅうりとなすの売上金額の合計は13000円となった。

このとき、用意されていたきゅうりとなすは、それぞれ何本であったか。方程式をつくり、計算の過程を書き、答えを求めなさい。(5点)

正答率  
35.3%

# 静岡県高校入試 2025年度対策【英語】

## 単語の難化、英文の専門化への対応を強化！

- ◆Stage1 ⇒教科書改訂で問われる文法・単語のレベルは格段にアップ！空所補充や語順整序も基本的な知識だけでは解けなくなっているため、文構造の理解や前後の文脈の理解も含めた対策が必須！
- ◆Stage2 ⇒話題性のある英文、英単語の語注の大幅減、本文と選択肢の単語の使い分け、内容把握に特化した設問など、英語の入試は全国的に共通テストを意識した出題に変化！読解力は不可欠に！
- ◆Stage3 ⇒上位生は高得点勝負のため、「英作文」対策が重要に！空所補充、和文英訳、意見作文を軸に、いろいろなタイプの問題に対応できるようにする！

# 2024年度静岡県高校入試 注目問題【英語】

## 大問2・3

(6) 次の英文は、この日の夜の勇太とトムとの会話である。あなたがトムなら、勇太の質問に対してどのように答えるか。次の  の中に、12語以上の英語を補いなさい。ただし、2文以上になってもよい。

Yuta: I want to start doing a small thing to help the environment. What can we do in our lives? Please tell me your idea. I also want to know why it is good for the environment.

Tom: All right.

正答率  
28.9%

3 恵(Kei)は、旅先の奈良から、友人のジョイス(Joyce)にはがきを送ることにした。あなたが恵なら、右の  の中の内容を、どのように伝えるか。次の  の中に英語を補い、はがきを完成させなさい。ただし、2文以上になってもよい。(4点)

・長い歴史を持つ寺で、塔(a pagoda)を見た。  
・その塔が、1426年に建てられたと聞いて驚いた。

Hi, Joyce. I'm in Nara.

Your friend,  
Kei

正答率  
40.7%

# 静岡県高校入試 2025年度対策【国語】

## 「表現問題」と「作文」の今後に注意！

- ◆Stage1 ⇒大問三の「表現問題」で統計資料(数値の含まれるグラフや表)の読み取りが課される可能性も！社会の資料対策と併せて、重点的にグラフに取り組んでおきたい！
- ◆Stage2 ⇒「作文」は資料が使われることもあるが、条件は少なく、定番の題材が使われることが多い！今後も大きく傾向が変わることはなさそうなので、他県の入試で頻出の題材を積極的に対策に取り入れ、端的に意見をまとめられるようにしておきたい！
- ◆Stage3 ⇒高得点を目指すなら記述対策の強化が必須！内容把握に関する問題は特に重点的に対策！

# 静岡県高校入試 2025年度対策【理科】

## 知識の活用を目指し、重要事項は早期に定着！

- ◆ Stage1 ⇒ 従来通りの、教科書で扱う実験・観察を掘り下げる形式が出題のメイン！設問は基本的な知識の確認が大半を占めるため、早い段階で基礎固めをし、知識の活用ができるようにしておく！
- ◆ Stage2 ⇒ “完答で正解(すべて選ぶ)”“組み合わせ選択肢”の出題もあり、知識の関連性が重視される入試！記述問題は思考力ではなく知識がそのまま問われるため、手順や原理原則の理解に力を入れた学習が不可欠！
- ◆ Stage3 ⇒ 得点力アップには、出題数の多い計算問題対策がマスト！難度の高い問題に取り組んでおきたい！

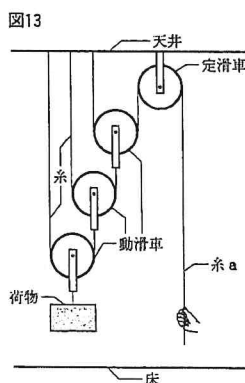
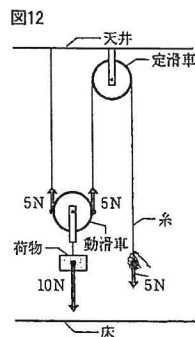
## 2024年度静岡県高校入試 注目問題【理科】

### 大問6

(2) 重い荷物を持ち上げるとき、クレーンなどの道具を使うことがある。クレーンには定滑車のほかに動滑車が使われており、小さな力で荷物を持ち上げることができる。図12は、定滑車1つと動滑車1つを用いて荷物を持ち上げる装置で、質量1kgの荷物をゆっくりと一定の速さで持ち上げたときの、荷物にかかる重力と糸が動滑車を引く力と手が糸を引く力を矢印(→)で示している。図13は、定滑車1つと動滑車3つを用い、糸aを引いて荷物を持ち上げる装置である。動滑車が1つのときに成り立つ原理は、動滑車が複数になっても、それぞれの動滑車において成り立つ。

次の□の中の文が、図11と図13の、それぞれの装置を用いて、同じ荷物を床から同じ高さまでゆっくりと一定の速さで真上に持ち上げたときの、手が加えた力がした仕事について述べたものとなるように、文中の(㊸)～(㊿)のそれぞれに適切な値を補いなさい。ただし、糸や滑車の質量は無視でき、空気抵抗や糸と滑車の間にはたらく摩擦はないものとする。

図11と図13の、それぞれの装置を用いて、同じ荷物を床から同じ高さまでゆっくりと一定の速さで真上に持ち上げたとき、図11の装置を用いた場合と比べて、図13の装置を用いると、手が糸aを引く力の大きさは(㊸)倍になり、手が糸aを引く距離は(㊿)倍になり、手が加えた力がした仕事の大きさは(㊿)倍になる。



正答率  
22.4%



# 静岡県高校入試 2025年度対策【社会】

## 基礎知識重視の学習で確実に得点する！

- ◆ Stage1 ⇒用語記述の出題数が多いため、基礎知識の定着は必須！頻出の用語だけでなく、他県で正答率が低い、出題頻度の低い用語も含めて対策しておく  
と安心材料に！
- ◆ Stage2 ⇒歴史や公民は資料の多用＝文字情報の増加のため、読解力や処理力も必要に！知識の確認後はアウトプットを重視し、実戦的な問題に多く取り組んで、知識の整理をしておきたい！
- ◆ Stage3 ⇒歴史や公民の記述は、資料はあっても問われるのは知識！入試で頻出ではない内容も出題されるので、いろいろな問題に触れておくことが大切！

# 2024年度静岡県高校入試 注目問題【社会】

## 大問1

(7) 傍線部⑥は1920年代後半に始まった。表2は、1925年、1933年、1938年における、アメリカ、ソ連、ドイツの、鉄鋼生産量を示している。表2の中のア～ウは、アメリカ、ソ連、ドイツのいずれかを表している。資料2は、経済のしくみの違いについてまとめたものである。資料2を参考にして、表2のア～ウの中から、ソ連に当たるものを1つ選び、記号で答えなさい。また、そのように判断できる理由を、資料2から読み取れる、ソ連が採用していた経済のしくみに関連付けて、簡単に書きなさい。

表2

	鉄鋼生産量(十万t)		
	1925年	1933年	1938年
ア	461	236	288
イ	123	84	205
ウ	19	70	180

注「近代国際経済要覧」により作成。

資料2

**市場経済**  
市場を通じて物やサービスの取り引きが自由に行われる。

**計画経済**  
政府が作った計画に従って生産・流通・販売などの経済活動が行われる。

正答率  
49.2%